

基本目標Ⅱ

誰もが文化芸術に親しむことのできる環境の整備



すべての市民が、年齢や障がいの有無、経済的な状況等にかかわらず、文化芸術を鑑賞することができ、創造等を行うことができる環境づくりに取り組みます。

また、あらゆる年齢や環境の人が文化芸術に関する情報を受け取ることができるよう、情報発信の拡充に努めます。

【春日井市の現状】

- 最近1年間に文化芸術鑑賞をした人の割合は、年代が上がるにつれておおむね低くなる傾向にあります。
- 30～50歳代は忙しさから鑑賞の機会が持てない人が多くなっています。
- 若い世代や高齢層にとって魅力のある催しがなといった課題があります。
- 子ども向けの事業の充実が求められています。

【課題解決のための施策・主な取組み】

施策6 鑑賞機会の充実

- ◆ アウトリーチ事業等による普及啓発の拡充
- ◆ オンラインを活用した鑑賞機会の提供とオンライン鑑賞を手助けする取組みの推進 **新規**

施策7 子どもの文化芸術活動の充実

- ◆ 子どもが文化芸術を体験できる機会の充実

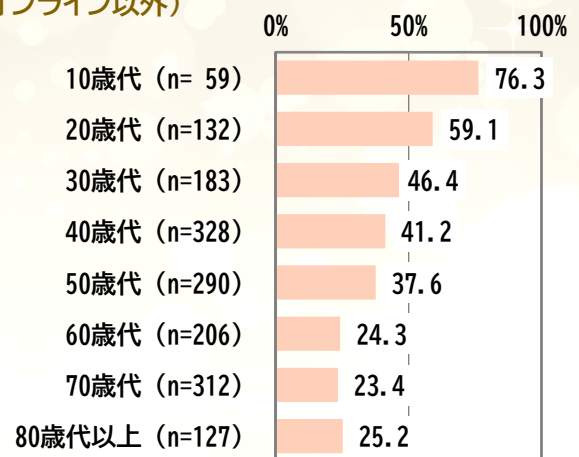
施策8 高齢者や障がいのある人の文化芸術活動の推進

- ◆ 高齢者や障がいのある人の鑑賞機会の充実
- ◆ 高齢者や障がいのある人の発表機会の提供 **新規**

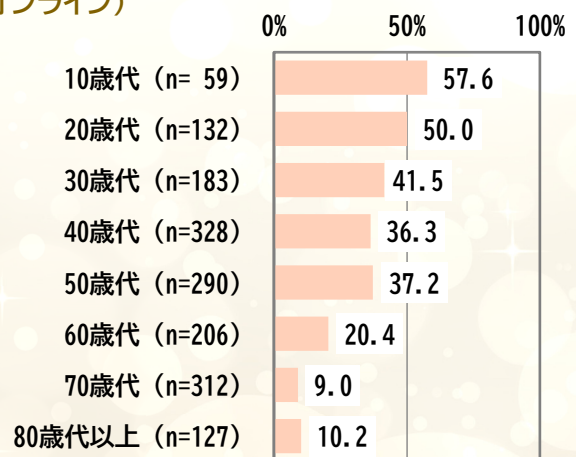
施策9 受け手に合わせた情報発信の拡充

- ◆ 受け手に合わせた多様な情報発信の充実
- ◆ 社会教育施設等での文化芸術活動の情報の発信 **新規**
- ◆ 文化芸術に関する情報に接する機会が少ない市民への情報提供手段の検討 **新規**

■最近1年間に文化芸術鑑賞をした人の割合(オンライン以外)



(オンライン)



資料：2021年春日井市文化振興に関するアンケート調査

